



第1学年性教育講話

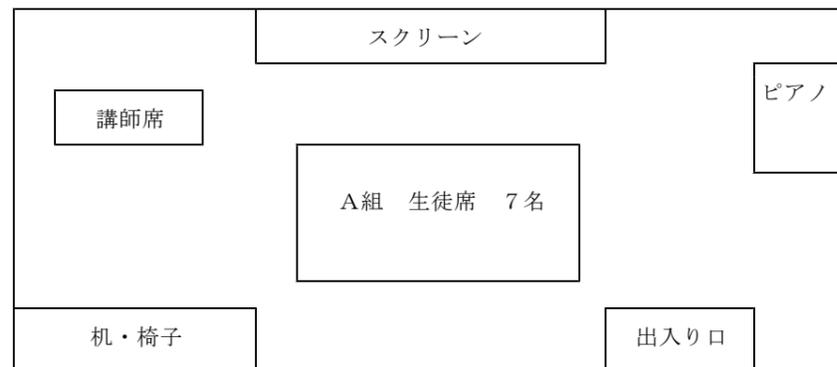
毎年、専門家を招聘し、1学年を対象とした性教育講話を実施しています。コロナ感染症対策等でお忙しい中、町立中標津病院から笠原医師が講師として来校頂きました。

生徒指導部

第1学年性教育講話について

1. 目的 (1) 正しい知識を身につけ、自らで判断・行動できるようにする。
(2) 将来に渡って、自他を大切にできる人間を育てる。
(3) 将来親になる者としての自覚を持たせる。
2. 日時 令和3年6月29日(火) 3, 4校時 音楽室
3. 講師 町立中標津病院 産婦人科 医師 笠原 玲奈 氏
4. 流れ 10:45~10:50 講師紹介(5分)
10:50~11:35 講話(45分)
11:35~11:45 休憩(10分)
11:45~12:15 講話(30分)
12:15~12:20 質問・謝辞(5分)
12:20~12:35 HRでの感想記入(15分)

5. 会場図



6. 生徒 2校時終了後、音楽室へ移動する。
7. 事後 講話終了後、教室へ戻り、感想文を記入する。
8. 準備 (1) 準備(当日)・片付け 1学年及び生徒指導部
横断幕の設置、講師席の設置、プロジェクターの準備、いす・机の移動、マイクの準備
(2) 準備するもの
横断幕、カメラ、プロジェクター、パソコン(持込)、講師席(机2、イス2)、マイク



【生徒のレポートより(順不同、抜粋)】

- 赤ちゃんの成長をあらためて知ることができて良かった。性に関する授業はめったにないので良い勉強になりました。
- 産むときの痛みは妊婦の気持ちで変わる。怖いだろうと思っていると痛くなる。これはオキシトシンというホルモンの分泌が関係する。
- オムツの替え方、性病が死にかかわること、たくさんの方が中絶していることがわかった。お金とかたくさんかかるから育てていくのは大変だと思った。赤ちゃんはやっぱりかわいいなと思った。
- ホルモンの種類、避妊の方法、SEXは何のためにするのか、赤ちゃんの育ち方など、くわしく知ることができた。
- 避妊の大切さがわかった。出産すると健康になるのは知らなかった。とても深いところまで教えてくれた。
- 赤ちゃんの成長についてわかった。出産の痛みは気持ちでだいぶ楽になることがわかった。
- 妊婦さんの100万人に3~4人が妊娠をしてなくなっていることを初めて知りました。たくさん(3兆個)の細胞から赤ちゃんができていくことを知りました。中学校で学んだことよりも詳しい話が多かったので、改めて確認したり学んだことがありました。お忙しい中、講義をしていただきありがとうございました。

町立中標津病院医師の笠原先生、ありがとうございました。

